

# 神戸市立医療センター西市民病院 泌尿器科ここ3年間の臨床成績

*(2008.1.1~2010.11.30)*

○中村一郎<sup>1)</sup>、西川昌友<sup>1)</sup>、山野 潤<sup>1)</sup>、  
阪本祐一<sup>1)</sup>、安藤 慎<sup>2)</sup>、原田健一<sup>2)</sup>

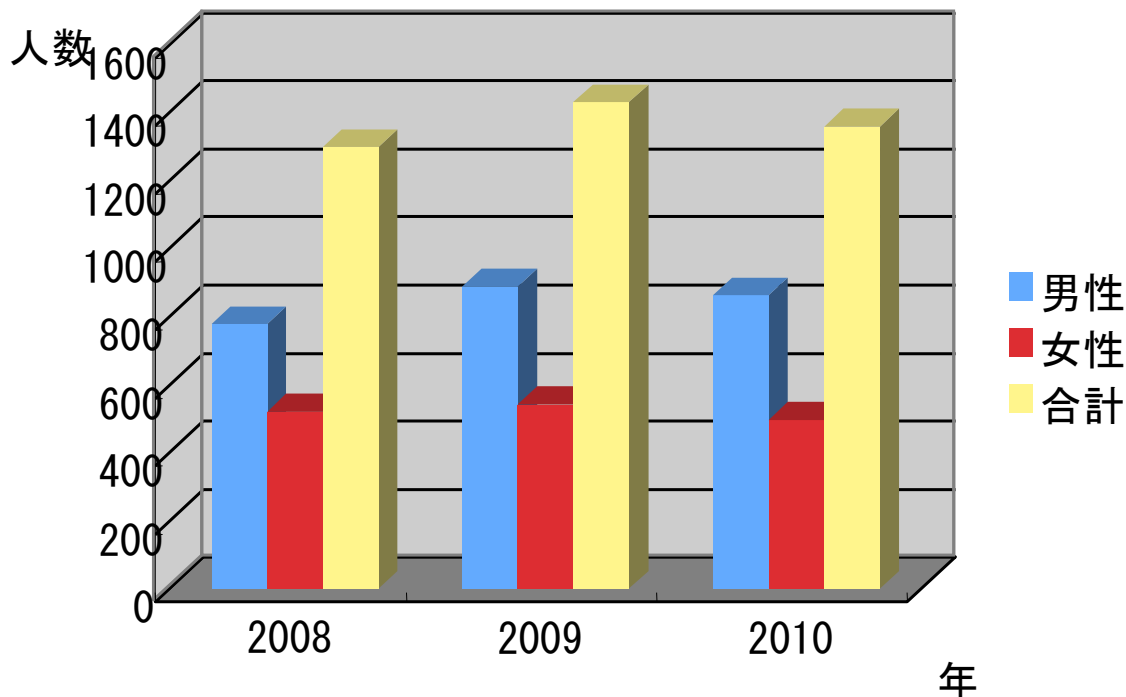
神戸市立医療センター西市民病院<sup>1)</sup>  
神戸大学医学部<sup>2)</sup>

# 外来初診患者統計

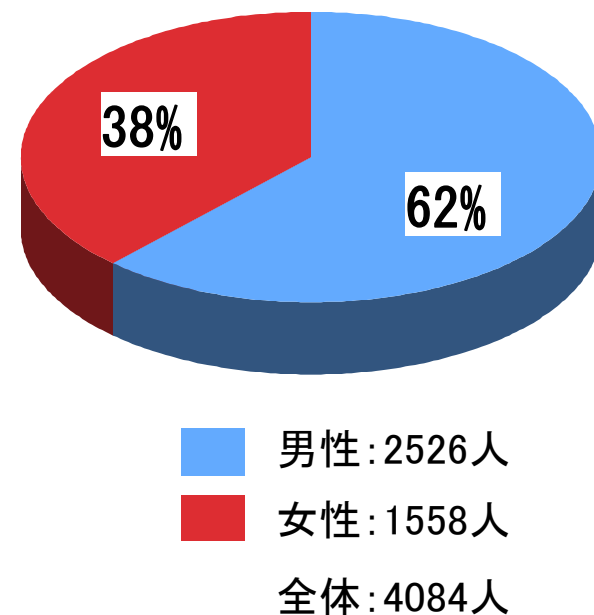
(2010年のみ11月までの集計)

	2008年	2009年	2010年
紹介率 (%)	50.1	62.2	66.0
救急患者数	214	223	274

## -年次推移-



## -男女比-

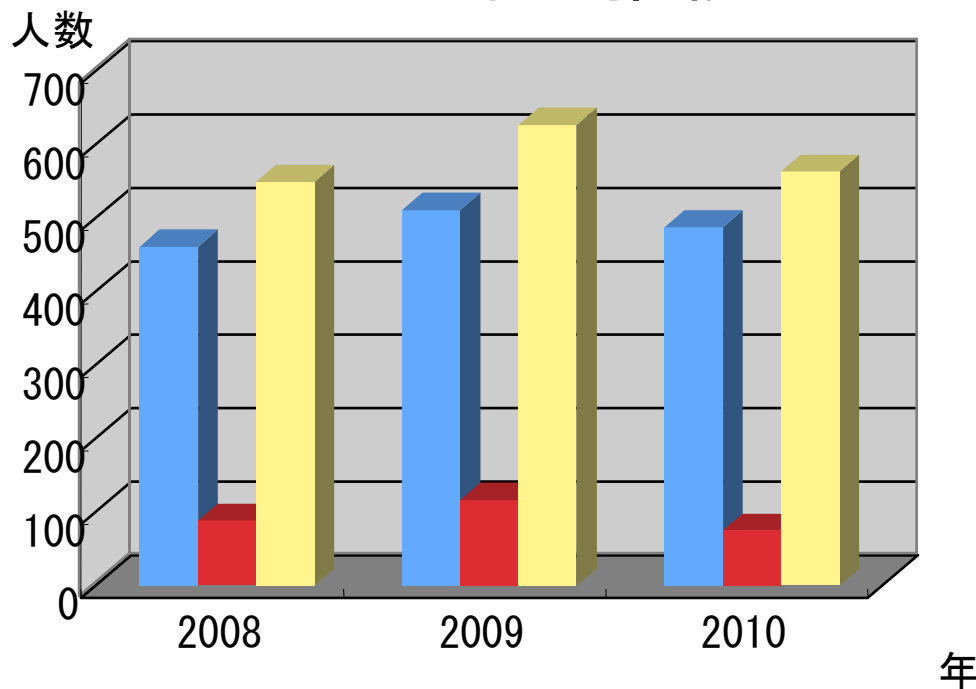


# 入院患者統計

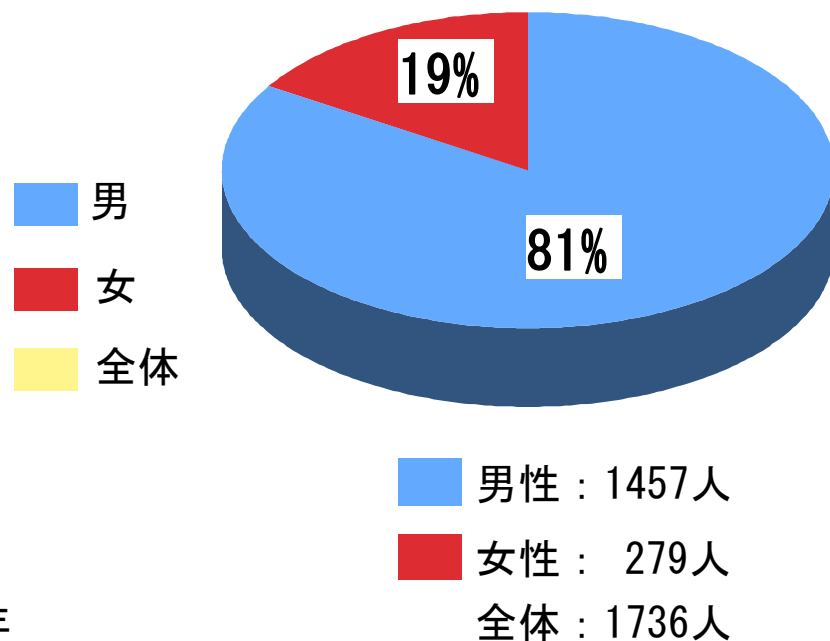
(2010年のみ11月までの集計)

	2008年	2009年	2010年
1日入院患者数	16.3	17.4	22.8
平均在院日数	11.1	10.5	10.9
割当病床数	20	20	20

## -年次推移-



## -男女比-



# 手術統計：術式別の年次推移

術式		2008年	2009年	2010年
副腎摘除術	開放	0	0	1
	体腔鏡	0	1	2
腎摘除術	開放	7	8	5
	体腔鏡	10	8	8
腎部分切除術 (小切開含む)	開放	0	6	4
腎尿管全摘術	開放	5	2	5
	体腔鏡	7	7	12
膀胱全摘		13	13	9
尿管皮膚瘻		6	0	4
回腸導管		6	7	5
新膀胱		1	6	0
前立腺全摘(小切開含む)		18	31	28
TUR-BT		71	73	92
TUR-P(HoLEP含む)		30	41	34
TVT		3	2	5
水圧療法		3	2	2

# 結語

- ・ 神戸市立医療センター西市民病院におけるここ3年間（2008年1月1日～2010年11月30日）の泌尿器科外来・入院・手術統計を行った。
- ・ 外来新患、入院、手術件数とも増加している。
- ・ 臓器別には前立腺が多く、疾患別には悪性腫瘍関連と尿路感染症が多かった。
- ・ 悪性腫瘍手術では膀胱癌手術が多く、膀胱全摘は開院以来10年間で92例あり、尿路変向術は尿管皮膚瘻が14例（15%）回腸導管が55例（58%）、新膀胱が25例（27%）であった。
- ・ HoLEP、f-TUL、ハイビジョンシステム、NBI、膀胱電子スコープ（外来4台）を新規購入した。
- ・ 副腎、腎尿管、前立腺手術では体腔鏡手術、小切開手術が主流となり、手術件数が増加している。